

物品第 1 号

水槽付消防ポンプ自動車（百石第 4 分団）

購入仕様書

令和 6 年度

青森県上北郡おいらせ町

水槽付消防ポンプ自動車（百石第4分団）購入仕様書

1 総 則

本仕様書はおいらせ町において令和6年度に購入する水槽式消防ポンプ自動車（Ⅱ型）の製作に係る一切の艤装に適用する。

この車両の製作は、本仕様書及び承認図によるほかは国庫補助対象規格とし、「水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型の規格」及び関係法令に適合するものであること。

2 概 要

本仕様書において購入する水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）は消防専用シャシに動力伝導装置及び高圧二段バランスタービンポンプを装備し、災害現場に対し速やかに行動出来るものとする。又、完成車は消防塗装を施し、道路運送車両法及び道路運送車両の保全基準に適合し、かつ緊急自動車として承認が得られるものであること。

製作に係る材料・物品は全て新規製作品を用い、これを装備し日本消防検定協会が行う受託試験及び鑑定に合格したものとし、これに係る費用は受注者が負担するものとする。

3 提出書類

（1） 艤装前の提出書類

艤装等の詳細については、当町担当者と事前に打合せを行うものとする。

受注者は製作前に次の書類を提出し承認を得ること

- | | |
|----------|--------------------|
| ① 製作工程表 | 2部 |
| ② 製作承認図面 | 2部（配管、電気配線、骨組図を含む） |

（2） 納入時の提出書類

完成車は、東北運輸局青森運輸支局八戸自動車検査登録事務所の行う新規登録を完了して納入するものとする。

- | | |
|-----------------------|----|
| ① 工程写真（カラー写真、製作工程ごと） | 2部 |
| ※艤装取り付け部品も含む | |
| ② ポンプ性能試験表 | 2部 |
| ③ 日本消防検定協会、受託試験の写し | 2部 |
| ④ ポンプ取扱説明書 | 2部 |
| ⑤ 改造自動車等審査通知書（写し） | 2部 |
| ⑥ 装備品写真（カラー写真、各装備品ごと） | 2部 |

4 質 疑

諸種の理由により本仕様書に変更を必要とする時、又は不審な点が発見された場合は町担当者に連絡のうえ承認を得てから製作し、承認を得た事項は本仕様書の追補として使用する。

また、仕様書に定めのない事項について疑義がある場合は、協議し定めるものとする。

5 検 査

水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）の保障期間は納入後 1 年間とし、保証期間内の 4 月と 10 月に定期点検を無償で行い、4 月の定期点検の際にタイヤ交換も無償で実施すること。

また、納入後材質の不良等により生じた故障及び破損は受注者がその責に任じ、無償で修理または取り替えをするものとする。

完成納入するまでの間において発生したどのような事故も受注者の責任とする。

（１） 中間検査（工程書による製作工程時）

中間検査は艤装工程に不審な点が生じたときに行うほか、艤装工程表に定める。

（２） 完成検査（納入時現地にて）

① 検査は次の項目について行う。

ア 艤装一般

イ 付属品、取付装置

ウ ポンプ性能試験

エ 真空ポンプ性能試験

オ 放水試験

カ 走行試験

② 検査の結果不当と認めた箇所については直ちに修復の上、再検査を受けなければならない。

③ 検査費用の一切については受注者の負担とする。

④ 車検費用の自動車損害賠償責任保険料・自動車重量税・リサイクル料については、発注者側で負担するものとする。

6 取扱説明

（１） 受注者は、納入後各装置、付属品等の取扱要領を現地説明し、訓練指導を行うものとする。

（２） 説明場所及び日時については、打ち合わせの上決定するものとする。

7 主要諸元

シャシ及びエンジンは、令和 6 年度に製造され日本消防検定協会の検定に合格した消防専用シャシで寒冷地仕様とし、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を艤装して十分耐え得る強度及び耐久性のある構造とし、主要諸元は次に揚げるとおりとする。

- | | |
|-------------|-----------------|
| （１） 全長 | 7, 500mm以下 |
| （２） 全幅 | 2, 300mm以下 |
| （３） 全高 | 3, 200mm以下 |
| （４） 車両総重量 | 11 t 未満 |
| （５） ホイールベース | 3, 790mm |
| （６） 定員 | 6 名以上 |
| （７） キャブ形状 | キャブオーバー型ダブルキャブ |
| （８） シャシ | 5.5 t 級をベースとする。 |

- | | |
|----------------|---|
| (9) 駆動方式 | 低床4WD ABS装置付 |
| (10) エンジン出力 | 220PS以上 |
| (11) オルタネーター | 24V100A以上 |
| (12) バッテリー | 115F51以上×2個 |
| (13) 燃料タンク | 100ℓ以上 |
| (14) トランスミッション | マニュアルトランスミッション |
| (15) オイルパンヒーター | シャシ標準規格品 |
| (16) その他 | パワーステアリング、パワーウィンドウ、フォグランプ、全輪泥除ゴム、サイドバイザー、前後席フロアマット、ヒーター及びエアコン、エアバッグ、時計付AM・FMラジオ、スペアタイヤ、スタッドレスタイヤ（スペアタイヤ・アルミホイール付含む） |

8 シャシ及びキャブの艤装

- (1) キャブはダブルキャブオーバー型とし、前席2名後部席4名掛けの隊員席を設け、全座席ビニールレザー張りとする。
- (2) キャブ屋根は作業点検等に十分耐えられるよう補強し、また防水性に配慮しアルミ縞鋼板を取付けること。シャシ及びキャブの艤装を行う場合、艤装品、装備品の重量配分を考慮して安定走行できるように艤装すること。
- (3) 電動キャブチルト装置を設けること。
- (4) キャブ内後部座席前方に手摺を設け、S字フックを10個程度取り付けること。
- (5) 天井は内張を行い、屋根上部に取りつけた電装品の保守点検が容易に出来るようにすること。
- (6) 室内中央に大型室内灯（LED式）を設けること。
- (7) オイルパンヒーター用電源コードとの接続部を車外に設けること。
- (8) バッテリーは点検整備が容易に出来るよう引き出し式とし、コードは余裕のあるものとする。（収納方式は協議とする）
- (9) ステップ類はアルミ縞鋼板を使用し、各ステップの端部周辺を折り曲げる構造とする。サイドステップはフロントフェンダーまで延長する。
フロントバンパーは前面に張出し、ステップ（アルミ縞板張り）を設け、キャブ前面に手摺を2箇所取り付けること。
- (10) 車両前後に外れ防止装置付牽引フックを設けること。
- (11) 乗降口は滑り止め付きアルミステップとする。
- (12) 助手席及び後部座席左右にマップランプ（LED）を取り付けること。
- (13) 燃料タンクは、ポンプ室付近に設けること。
- (14) 乗降用の手摺をキャブ側面両側に2個取り付けること。
- (15) 寒冷地仕様とする。（リアヒーター等標準装備）
- (16) キャブ内後部座席下には自動車工具等が収納できるようにすること。

9 主ポンプ

(1) 型式

自動揚水装置付、高圧二段アルミ製バランスタービンポンプとする。

(2) 性能

- ① 主ポンプの性能は国庫補助対象規格（A－2級）に合格したものとする。
- ② 主ポンプはあらゆる運転状態（吸水・放水）において異常な振動、余熱、漏水等のない構造とすること。

(3) 主ポンプドレン

主ポンプには、PTO スイッチに連動して作動する電動式ポンプドレン装置を設けること。また、故障時の緊急時においても非常操作が行える構造とすること。

(4) ポンプ不凍装置

不凍液注入口を設け、主ポンプ、真空ポンプ等、主要部の凍結を防止する構造とすること。

(5) ポンプ軸封装置

メンテナンス不要のメカニカルシール方式とすること。

10 真空ポンプ

(1) 真空ポンプは、四翼以上の偏心ローター型ポンプとし、無給油方式とすること。

総排気量は1900cc以上とし、真空ポンプを2個設けること。

(2) 真空ポンプの作動は、電磁クラッチ方式とし、左右側板に設けたスイッチにより作動すること。また非常用の真空ポンプ作動スイッチを左右側板に設けること。

(3) 真空ポンプは主ポンプの完全揚水と同時に自動的に停止すること。

水圧を利用して停止するものにおいては水圧0.3MPa以内で停止すること。

(4) エンジンスロットルは、ポンプ室両側面に設けること。

(5) 性能

内径75mm・長さ10mの吸管1本を使用して試験を行った時、次の条件を満たす性能があること。

- ① 大気圧の84%に達する時間が30秒以内であること。
- ② 漏気は、30秒間で1.3KPa以下であること。

11 ポンプ動力伝導装置

(1) ポンプ軸動力はPTOから取り出すこと。

(2) 推進軸の可動範囲一杯の動作においても両者が干渉しないよう十分な間隔を設けること。

(3) 各軸受けは、全て良質強固なボールベアリングとし、軸の外部へ貫通する箇所は潤滑油が漏洩しない構造とする。

(4) PTOがトランスミッションと分離した時は、エンジンの動揺が十分逃げられる構造とすること。

1 2 配 管

- (1) 全ての配管は有効に排水できる構造であり、振動に十分耐えられるものとする。
- (2) 止水弁は主ポンプ吐水部に装着し、いかなる状態の揚水も完全に行い得る構造とすること。

1 3 吸水口

- (1) 吸水口はポンプ室両側に 7 5 mm ボールコック及びストレーナー付を各 1 個設け、左右スィーベルエルボ及び軽量吸管 (7 5 mm × 1 0 m) を常時接続し、円形に巻き付け収納する構造とすること。
- (2) ポンプ室両側にエゼクター装置を設けること。
目視で確認可能な連続呼水装置を付置し、エゼクター配管は銅パイプまたはシンフレックスパイプとすること。
エゼクター装置は標準放水試験条件のときバルブを全開しても落水せず 6 0 秒以内に揚水を完了すること。

1 4 中継口

中継口はポンプ室両側に 6 5 mm ボールコック及びストレーナー付を各 1 個設けること。
6 5 mm ネジメス × 6 5 差込メスの媒介金具と鎖キャップを取り付けること。

1 5 放口

放口はポンプ室両側に 6 5 mm ボールコックを各 2 個設けること。
放口媒介金具は 6 5 mm 及び 5 0 mm のマルチタイプとし、両側に各 1 個スィーベル接手付を取り付けること。

1 6 ドレンコック

吸水口、中継口、放口には排水コックを取付、コックは出来る限り左右各 1 箇所に集めること。排水された水がシャシ等に掛からない構造とすること。

1 7 冷却配管

エンジンおよび動力装置の冷却のために主ポンプからストレーナーを通じて配管し、配管パイプは銅管又は、同等品を使用し、振動部には可とう管を使用すること。

1 8 水槽 (水-II 型)

- (1) 水槽は、容量 2000 リットル以上とし、PP (ポリプロピレン) 製又はステンレス製これと同等以上の強度を有するものであること。
- (2) 水槽は、振動、衝撃等により損傷、緩み等を生じないように車台に固定し、水圧に対して変形及び水漏れのない構造とすること。
- (3) 水槽の艤装材料の厚さは次によるものであること。

ア 側板	4. 0 mm 以上
イ 底板	6. 0 mm 以上

ウ 上板 4. 5mm 以上

エ 防波板 2. 0mm 以上

- (4) 水槽内面には、PP 製又はステンレス製の防波板を設けボルト及びナット類を全てステンレス製すること。
- (5) 水槽内部は、点検、清掃、修理等ができる構造で、マンホールを設け密閉できるものであること。
- (6) 水槽には、オーバーフローパイプ、左右両側に水補給口（逆流防止弁、鎖付キャップ付）を設けること。
- (7) 水槽の水全部がポンプに給水できる 75mm ボールコック付きの吸水口を設け、ポンプ室両側より開閉操作できるものとする。こと。（配管には緩衝装置を施すこと）
- (8) 水槽には、消火栓及び他ポンプの 65mm ホースから直接水を補給できる水槽補給口を車両の左右に設けること。
- (9) 水槽には、ポンプによる自己補給をするための 65mm ボールコック付き送水口を設け、配管には緩衝装置を施すとともにポンプ室両側より開閉操作できるものとする。こと。
- (10) 排水のためのドレンは、水槽底部の中央付近に取り付け、車両の左側から容易に操作できる構造にし、必要に応じ保護枠を取り付けること。
- (11) 水槽上部は、アルミ縞鋼板張りとし、車体の左右側面には煽りを立ち上げる。こと。煽りは地面に対し垂直に立ち上げる。また、前後に二段手すりを設けること。
- (12) 水槽には、水量計、電子式（残量警報ブザー付）及び水管浮子式をポンプ室両側に取り付けること。なお、水量計は夜間でも水量を視認できるようにすること。

1 9 車体構造及び艀装

- (1) 艀装に使用する材料はサブフレームを除き努めて、アルミニウム素材を使用すること。アルミニウム素材を使用することで重量軽減を図るとともに、全般にわたり防食性、防水性び耐水性を十分考慮して艀装することとする。
- (2) 車体はシャシ付ダブルキャビンのボックス型構造とし、左右両側 6 面及び後部面をバーハンドル仕様のオールシャッター構造とすること。
- (3) ボディー外板等に使用するボルト、ナット及び丁番はステンレス製とすること。
- (4) 側板は 2.0 mm 以上の鋼板で組み、上端周辺を折り曲げ加工とし、下部内側は山型鋼でボディーに緊着し、側板上部及び後部に手摺を設ける。
- (5) ポンプ室は車体左右側面前部としアルミ合金製シャッター扉を設けること。ポンプ室左右下部にステップ兼用扉を設けること。
- (6) 車体左右側面中央部及び車体左右側面後部にバーシャッター扉付ボックスを設けること。ボックス内部にホースを収納する棚を設け、落下防止用の可動式手摺を設けること。（取付位置は別途協議すること）
- (7) 車体左右側面中央部シャッター扉の下に展開式ステップを取付けること。
- (8) 車体左右側面後部シャッター扉の下にステップ兼用扉のボックスを設けること。
- (9) 車体後部はシャッター扉とステップ兼用扉とし、水槽後部からの空間を有効に利用して納棚及び展開式資機材収納扉を設けること。（詳細は別途協議すること）

- (10) ポンプ室上部にできるだけ大きく開放出来る点検鋼口を設け、かつ雨水等が侵入しない構造とすること。
- (11) ポンプ室の鋼板は密閉型とし、放水コックの修理に必要な箇所は取外しができるものとする。
- (12) 車体上部及びサイドステップは、アルミ鋼板を使用し、各ステップの端部周辺を折り曲げ加工すること。サイドステップはフロントフェンダーまで延長すること。
- (13) キャブ左側後方にバッテリー引出装置を取付けること。
- (14) 各操作レバー及びスイッチ類には、明瞭に識別できるようプレートを設定すること。
- (15) 各操作レバー、ハンドル、その他の外部露出金属類には、良質のクロームメッキを施すこと。（グリスカップ含む）
- (16) 吸水口、中継口、放口カバーにステンレスプレートを設定すること。
- (17) 媒介金具はオールメッキ又はアルミとすること。
- (18) フェンダー及び収納箱等の下部下回りの鉄部接合部はコーキング等により防水処理を十分に行うこと。
- (19) 車体上部後方に梯子ローラー引出装置を設定すること。（手動式）
また、安全に考慮してダブルロック構造とすること。
- (20) 車体左右ポンプ室前方に固定式昇降用装置を取り付けること。
また、車両後部に折畳式アルミ合金製の昇降用装置を取り付けること。
- (21) 旗立て装置を車体後部に取り付けること。（左右）
- (22) ナンバープレートの取付位置は、各種操作時に支障が出ない位置に取り付けること。
- (23) 付属品等の設置する装置を設定すること。（取付位置は協議すること）

20 照明、灯火装置

(1) 照明灯および作業灯

①作業灯 6 灯 (LED)

車体側面中央から後部に嵩上げ部の前後、車体後面のバランスを考慮した適切な位置に取り付けること。

②自立型LED式強力照明装置（ナイトスキャンチーフ160W×2灯式）をキャブ上ルーフデッキに取り付けること。操作は有線リモコン式とし、操作用有線リモコン及び収納ボックスは、右側に取り付けること。（取付位置協議すること）

③照明灯を車体艀装部前方及び車体後部に伸縮式で取付けること。(LED)

④左右ポンプ室内の計器盤を有効に照らす位置に照明灯 (LED) を取付けること。

(2) 赤色警光灯(LED 式)

キャブ屋根前方に標識付赤色警光灯（スピーカー2 個内蔵型）を取り付け、取付部は補強すること。（防雪カバーを取り付けること）型式等は協議

(3) LED赤色点滅灯

①車体前面、車体側中央から後部の嵩上げ部、車体後面のバランスを考慮した適切な位置に取り付け、赤色点滅灯と連動させること。（取付位置は協議すること）

②フロントグリル内に2 個、バンパー側面 2 個、バンパー下部2 個を取り付けること。

(取付位置は協議すること)

③車両前面、側面、後部に計 1 2 個取り付けること。(取付位置は協議すること)

(4) 路肩灯

両側面の適切な位置に降臨を照らす長方形の路肩灯(LED)を左右各 1 個設けること。

(5) バックライト

車体後方左右に取り付けること。(LED 可)

(6) 保護枠付照明灯

各資機材格納箱は扉開閉と連動する保護枠付照明灯(LED)を取付けること。

2 1 警報装置

(1) 電子サイレン

アンプは、電動サイレン及び警鐘の疑似音を発することができ、かつ拡声装置としても使用できるもので出力 5 0 w 級とする。スピーカーは赤色警光灯内蔵型とすること。

取付

ダッシュボード内または運転席と助手席の間に設けるセンターコンソールに取り付けること。

(2) 電動モーターサイレン

自動吹鳴装置付電動サイレンをキャブ屋根に取り付け(赤色警光灯内蔵型可)、運転席及び助手席にスイッチを各 1 個設けること。(取付位置は協議すること)

2 2 積雪寒冷地特殊艤装

(1) ポンプ室前方に外気及び風雪防護板を設けること。

(2) 各ドレンコックの破損防止を設けること。

(3) バッテリー引出式格納箱を設けること。

(4) 格納箱等の埋込キャッチは、大型取り付けとする。

(5) 各ドレンコック及び配管は 6 mm 以上の径とする。

(6) バッテリーの容量は、1 2 0 A H 以上とする。

(7) キャブ室内後部座席、下部へ暖房用ヒーターを設けること。

2 3 艤装材料

艤装材料は、次に掲げるもの又はこれらと同等以上の強度及び耐久性を有するものを使用してあること。(国庫補助規格)

部品名		材料
ポンプ	羽根車	日本工業規格(工業標準化法(昭和 24 年法律第 185 号))第 17 条第 1 項の工業規格をいう。以下同じ。)
		H5120(銅及び銅合金鋳物)
		日本工業規格 H5121(銅合金連続鋳造鋳物)
		日本工業規格 H5202(アルミニウム合金鋳物)

	ポンプケース	日本工業規格 H5120 (銅及び銅合金鋳物) 日本工業規格 H5121 (銅合金連続鋳造鋳物) 日本工業規格 G5501 (ねずみ鋳鉄品) 日本工業規格 H5202 (アルミニウム合金鋳物) 日本工業規格 G5501 (ねずみ鋳鉄品)
	ポンプ軸	日本工業規格 G4303 (ステンレス鋼棒) 日本工業規格 G4102 (ニッケルクロム鋼鋼材)
	真空ポンプ	日本工業規格 H5120 (銅及び銅合金鋳物) 日本工業規格 H5121 (銅合金連続鋳造鋳物)
	真空ポンプ軸	日本工業規格 G4051 (機械構造用炭素鋼鋼材)
	重要動力伝導軸 重要動力伝導歯車	日本工業規格 G4051 (機械構造用炭素鋼鋼材) 日本工業規格 G4052 (焼入性を補償した構造用鋼鋼材 (H鋼))
吸・吐水用配管		日本工業規格 G5501 (ねずみ鋳鉄品) 日本工業規格 G3452 (配管用炭素鋼鋼管)
ホースの結合用ネジ部		日本工業規格 H5120 (銅及び銅合金鋳物) 日本工業規格 H5121 (銅合金連続鋳造鋳物) 日本工業規格 H5202 (アルミニウム合金鋳物)
車の構成材		日本工業規格 G3101 (一般構造用圧延鋼材) 側板 (I 型) 1.6 mm 以上 サイドエプロン 1.2 mm 以上 フェンダー 1.0 mm 以上
注 通水内面には防食処置を施すこと。(ただし、銅及び銅合金部分を除く。)		

2 4 塗 装

- (1) 車体は特殊化学液にて充分錆落としの上、リン酸塩被膜を形成後プライマーパテ、水研ぎ、サーフェーサーを行い、熱風乾燥炉にて充分乾燥させ赤色 (消防色) ウレタンラッカーにて 3 回以上の吹付を行い、再び熱風乾燥炉にて充分乾燥させること。
- (2) 各操作部には明確なプレートを張り付けること。

2 5 記入文字

- (1) キャブ両側窓下に「おいらせ町消防団」とモリサワ新ゴM字体白色にて記入すること。
- (2) 標識灯に「百石第4」と丸ゴシック黒色で記入すること。
- (3) 車体側面、後部シャッターに文字等を配置する。(文字、デザイン等は別途協議すること)

2 6 取付品及び取付装置

1	ポンプ圧力計 ポンプ室左右側板の計器盤上に各 1 個取り付け。 3.5Mpa	2 個
---	---	-----

2	ポンプ連成計 ポンプ室左右側板の計器盤上に各 1 個取り付け。 2.0Mpa	2 個
3	エンジン回転計 運転台に 1 個取り付け。(シャシ固有)	1 個
4	エンジン油温計 運転台に 1 個取り付け。(シャシ固有)	1 個
5	赤色警光灯(LED 式防雪カバー付) キャブ室屋根上部に取り付けとし、LED 散光式とする。標識灯含む	1 式
6	電子サイレンアンプ (50W 型) 音声合成付 消防団標準音声 電動サイレン及び警鐘の擬似音かつ拡声装置として使用出来ること。	1 式
7	照明灯 (サーチライト) 車体前後に取り付けし、手動で伸縮できる構造であること。 LED 式ランプ 55W 以上 (メタルハライド可)	2 個
8	後退警報器 (シャシ固有のもの) ON/OFF スイッチ式	1 個
9	バッテリーメインスイッチ	1 式

2.7 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

1	電動モーターサイレン	赤色回転灯内蔵型	1 個
2	ポンプ回転計		1 式
3	電動キャブチルト	シャシメーカー標準	1 式
4	オイルパンヒーター	AC100V	1 式
5	不凍液注入装置	タンク式	1 式
6	スタッドレスタイヤ	アルミホイール付(スペア含む)	7 本
7	作業灯	LED型 左右各 2 個 後部 2 個	6 個

2.8 備えなければならない付属品

1	吸管	φ 75mm×10m 金具付 (軽量反射入)	2 本
2	吸口ストレーナー	ポリ製	2 個
3	吸管ストレーナー	75 mm	2 個
4	吸管ちりよけかご	75 mm	2 個
5	吸管まくら木	ゴム製	2 個
6	吸管ロープ	10mm×15m	2 本
7	消火栓金具	φ 75mm ヌネジ×φ 65mm 差込ヌ	1 個
8	中継用媒介金具	φ 65mm ヌネジ×φ 65mm 差込ヌ	2 個
9	消火栓開閉金具	地上式	1 式
10	吸管スパナ		2 本
11	管鋸	ストレート式 65 mm×1 50 mm×1	2 本
12	ノズル (替口)	噴霧ノズル×1 20mm・23mm各 1 個	4 個

13	放口媒介金具	φ 65mm ｽｽﾞｼﾞ × φ 65mm・50mm 差込ｽ MC φ 65mm ｽｽﾞｼﾞ × φ 65mm・50mm 差込ｽ MC ｽｲﾍﾞﾙ	各 2 個
14	とび口	1.8m グラスファイバー製	6 本
15	金てこ	約 0.8m	1 本
16	剣先スコップ	木柄	1 本
17	はしご	アルミ製二連式	1 式
18	車輪止	ゴム製	2 個
19	消火器	自動車用 20 型	1 本
20	発電機	900W 以上インバーター付	1 台

2 9 軽微な変更として備えることができる付属品

1	分岐管	65mm×50mm・2 口 MC	1 個
2	斧		1 本
3	掛矢		1 丁
4	タイヤチェーン	バンド式 S/W	1 式

※ 以上国庫補助対象規格、Ⅱ型に基づく。

3 0 特別艤装（取付品、付属品）

1	赤色点滅灯	LED LFA-200 フロント部・バンパー側面・ バンパー下部各 2 個 LED LFA-300 側面左右 嵩上げ部 LED LFA-300 後部左右（同等品可個数協議）	6 個 4 個 2 個
2	ハンマー		1 丁
3	消防団マーク	プラスチック製	1 個
4	中継口キャップ	チェーン付	2 個
5	バックアイカメラ	大型ミラーモニター型	1 式
6	泥除け		1 式
7	マップランプ	10WLED 前部左右各 1 後部 1	3 個
8	ドアバイザー		1 式
9	リモコン式照明装置	ナイトスキャンチーフ LED 式	1 式
10	無反動管槍	65mm	1 本
11	受令機・無線機移設	旧車両より移設	1 式
12	路肩灯	バス型 LED	2 個
13	ドライブレコーダー	1 カメ高画質・駐車監視付	1 式

14	消防用ホース 65 mm	ジェットホース D ライトダイヤ α 65mm×20m 1.3Mpa	20本
15	消防用ホース 50 mm	ジェットホース D ライトダイヤ α 50mm×20m 1.3Mpa	10本
16	ディスクストレーナー	ゴミよけネット付	1式
17	旗立金具	ステンレス製 左右	2式
18	室内灯	LED 式	1式
19	差込異径媒介	65mm差込ノズ×50 差込ノズ	2個
20	自動充電器	あんしんチャージャー	1式
21	LED 投光器	三脚付	1式
22	コードリール	防雨型 30m	2個
23	車幅灯	黄色 LED 流星型 左右 1 個	2個

3 1 納 期 令和 7 年 3 月 31 日

3 2 納入場所 おいらせ町 役場本庁舎（中下田地内）